



■第16普通科連隊による体験試乗の様子



■護衛艦「あけぼの」の艦内見学の様子



実施した。それぞれの自衛隊の代表的な装備品を見ることができ、実感できた参加者は興味を大いに示していた。

参加者からは「入隊したら災害派遣において被災した方の役に立ちたい。」「色々な職種があることが理解できた。」などの感想が聞かれた。

長崎地本は、長崎県内の多くの若者に自衛隊に対する理解を深めていただき、志願者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努める。

(募集課)

7月26日は航空自衛隊築城基地において、第8航空団を見学し、7月28日から7月30日の間は陸上自衛隊大村駐屯地において、第16普通科連隊を見学したのち、海上自衛隊佐世保基地において護衛艦等を見学した。

航空自衛隊築城基地では、F-2戦闘機などの航空機等装備品の展示が行われた。陸上自衛隊大村駐屯地では、高機動車等の試乗、07式機動支援橋による架橋展示、音楽隊による演奏が行われ、海上自衛隊佐世保基地では護衛艦「ありあけ」及び護衛艦「あけぼの」を艦内見学したほか、護衛艦「いせ」及び潜水艦「くろしお」の外観からの見学を

長崎地本(本部長 江上昌利1海佐)は、7月26日(月)及び7月28日(水)から7月30日(金)までの計4日間、西部方面総監部が実施する三自衛隊統一募集広報(パワーアドベンチャー2021)へ募集対象者95名を引率した。

このイベントは、高校生等に自衛官の姿を見てもらい、三自衛隊のイメージアップを図るとともに、自衛隊への入隊意欲の醸成を目的として毎年実施されている。



発行所  
自衛隊長崎地方協力本部  
長崎市出島町2番25号  
Tel. 095-826-8844



長崎地本公式HP



長崎地本公式 Twitter



長崎地本公式 Instagram



国家を守る、公務員。  
自衛官募集



■辞令書を交付される予備自衛官補



■予備自衛官補及びその家族との記念撮影

### 未来の予備自衛官たち

採用された予備自衛官補からは「取得した資格を活かして予備自衛官として活躍するだけでなく、さらなるスキルアップを図りたい。」との発言も聞かれ、辞令書交付の結節を経て、高い志と将来への強い意欲を滲ませた。

長崎地本は、予備自衛官補が予備自衛官へスムーズに任用することができるよう、きめ細やかな支援を実施し、引き続き予備自衛官等の勢力確保に努めていく。(援護課)

長崎地本(本部長 江上昌利1海佐)は、7月11日(日)、長崎地方協力本部にて7月1日付で採用された予備自衛官補に対する辞令書交付式を実施した。

予備自衛官補は、一般と技能の2区分があり、それぞれ所定の教育訓練に参加し、必要な知識・技能を習得することで、予備自衛官へ任用される。

今回、一般6名、技能(衛生甲(医師)、語学(英語))2名計8名の採用者に対し、制度・訓練説明、辞令書交付、部長の激励等を行うことにより、これから予備自衛官補を経て予備自衛官となつて、我が国の防衛に貢献することの意識付けを図った。

また、一部の予備自衛官補のご家族が辞令書交付式に参加され、予備自衛官補の必要性について御理解いただき、家族のサポート体制の強化を図った。

長崎地本は、今年度も隊員及び職員からガイダンスに関するアンケートを実施し、次年度以降、更なる改善を図って隊員が万全の準備で合同企業説明会をはじめとする就職活動に臨めるよう就職援助を充実させていく。(援護課)

長崎地本(本部長 江上昌利1海佐)は、長崎県任期制隊員合同企業説明会ガイダンスを海上自衛隊佐世保地方総監部及び陸上自衛隊大村駐屯地で実施した。

この事業は長崎県任期制隊員合同企業説明会への参加を希望する隊員が説明会当日に説明を受けた企業を最大6社選定できるように、合同企業説明会に応募した各企業の情報をガイダンスするもので、長崎地本では昨年度から実施している。今年度は7月1日(木)に佐世保地方総監部で海士2名に、同13日(火)に大村駐屯地で陸士8名に対し、合同企業説明会応募企業95社のガイダンスを行った。

ガイダンスは各企業を受け持つ援護担当者が1社あたり1分間を基準に実施したが、今年度の説明スライドは昨年度のガイダンス実施後に聴取したアンケート結果を反映し、企業が作成したPR画像に年収・月収、就業日数・時間、福利厚生、必須技能及び自衛隊OB在籍情報等、隊員が関心を示す事項を追加した構成とし、また月収については西方処遇目標額との比較、就業日数・時間については労働基準法等を基に「一般的」「やや多い」「多い」の区分、福利厚生については加入保険、退職金制度、定年年齢、定年延長の有無等を基に「極めて良好」「概ね良好」「普通」の区分など、それぞれ基準となる文言を追記した。さらに154件ある求人票の各求人条件の比較が容易にできるよう求人状況一覧表を作成し、求人票綴りと併せてガイダンス前に隊員に配布して自主研究するよう求めた。

長崎地本は、今年度も隊員及び職員からガイダンスに関するアンケートを実施し、次年度以降、更なる改善を図って隊員が万全の準備で合同企業説明会をはじめとする就職活動に臨めるよう就職援助を充実させていく。(援護課)



■海上自衛隊佐世保地方総監部

### 任期制隊員に合同企業説明会ガイダンスを実施

■陸上自衛隊大村駐屯地



# 五島市防災訓練における募集広報活動



■戦闘機(F-2)の展示

7月11日(日)、五島駐在員事務所(所長 納屋誠二(陸曹))は、五島市防災訓練に参加し、来賓受付支援及び募集広報活動を実施した。本訓練では、大規模災害を想定し、災害発生時における対応能力の向上を図るため、航空自衛隊、長崎DMAT及び五島市内の災害対処関係機関と連携した防災訓練を行った。

参加機関は、航空自衛隊(第15警戒隊、第8航空団、西部航空方面隊、西部航空音楽隊)、長崎DMAT、五島海上保安署、五島警察署、長崎県トラック協会下五島支部で、雨のち曇りの天候であったが、参加者は500人を超えた。航空機見学やミニコンサートが開催される中、五島駐在員事務所も募集広報を実施して、自衛隊に興味がある方にパンフレットを配布した。その中でも自衛官候補生採用試験対象者の方々にはアンケートを実施し、今後の活動の資とすることができた。

五島駐在員事務所は、今後もイベント等を活用し、訓練だけではなく、募集広報活動を行うとともに、島民と自衛隊のかけはしになるよう引き続き努力していく。(五島駐在員事務所)

## 住宅火災の初期消火等で被害を抑え山口曹長に感謝状



■消防署長から感謝状を贈呈

7月21日(水)、大村地域事務所 山口隆博陸曹長は、佐世保市東消防署長から感謝状を贈呈された。これは、6月に長崎県東彼杵郡川棚町で発生した住宅火災において、初期消火と迅速な通報により被害を最小限に食い止めることと、高年齢者を含む3名の住人を適切に避難させた功績によるものである。

山口曹長は、「避難させることに必死だった。住人が無事で何よりです。」とその当時に思い返し、安堵の表情を浮かべていた。(大村地域事務所)

## 61歳陸曹長に業務改善提案で3級賞詞授与



吉居雅博陸曹長

長崎地本(本部長 江上昌利1海佐)の吉居雅博陸曹長が提案した「就職希望調査票及び就職調査票の記入項目の追加について」の業務改善が、令和2年度業務改善提案審査において陸上幕僚長採用となった功績により、7月20日(火)に西部方面総監から第3級賞詞が授与された。

吉居曹長は昭和35年4月生まれで現在61歳。昭和54年入隊、平成26年再任用となり、自衛隊勤務は43年目となる。長崎地本には平成18年から勤務し、この8月で15年目となるので、過去のことで不明な点があった時などは必ず「吉居曹長に聞け。」と皆が口を揃える生き字引的な存在である。しかし、この「爺様」は決して過去の経験の上に胡坐をかかず、新しい技術を知ることには貪欲で、データベースソフトの Access(アクセス)も使いこなし、現在は8月から長崎地本に導入される一元的な文書管理システムによる電子決裁について援護課内を指導している。このような好奇心旺盛さに加えて平素から業務に疑問を持ち続ける姿勢が今回の業務改善提案に繋がったのだろう。

8月は吉居曹長の主要業務のひとつである遺族援護に係る遺族訪問の電話調整を各ご遺族と行っているが、コロナ禍のため長いお付き合いのご遺族のご自宅へ今年も訪問が叶わず寂しそうです。しかし、代わりに今年4月に援護班に配属された2名の若い事務官の育成に奮闘中であり、孫ほど歳の離れた若手から逆に刺激を受けることも多く、61歳の吉居曹長、まだまだ成長中である。(援護課)

## 臨時勤務お疲れ様でした



護衛艦「あさひ」  
海士長 平野 由夏

普段とは違う環境での勤務でした。学校説明会では、人前で自衛隊について話す機会があり、どういう内容を話せば興味を持ってくれるのかを考え話すよう心掛けました。また、今まで海上自衛官としか話す機会がなかったため、この機会に陸上・航空自衛官の広報官と話すことができ、広い世界を知ることができました。これから階級が上がるにつれ、人前で話しをしたり教育する機会が増えるため良い経験となりました。この経験を自分の糧とし勤務していきます。

(6月2日から7月30日まで  
大村地域事務所で臨時勤務)



第22航空群  
海士長 相島 孔明

受験から入隊までお世話になった佐世保出張所で募集業務に携わる事ができ、大変有意義な臨時勤務となりました。業務内容としては、入隊希望者に対する説明、イベント等の計画、地域の方との連携等、募集業務に触れる貴重な経験となりました。将来的に任地の選択肢の一つとしたいです。今後については、私は今の職種を早く覚え、海上自衛隊だけではなく、陸上・航空自衛隊の知識を拡大し自衛隊の魅力などをPRしていきたいです。

(7月5日から7月30日まで  
佐世保出張所で臨時勤務)



佐世保教育隊  
1等海士 西川 颯人

今回初めて長崎募集案内所に臨時勤務させていただきました。地本での勤務はとても楽しく、いろいろと勉強になりました。広報官の方と外回りをしたり、自衛隊OBの方とお話をする機会があったり、とても良い経験になりました。今回の勤務期間中に色々学びがあり、自分自身少しは成長できたと思えます。この経験を活かし、今後の勤務も頑張りたいと思います。

(6月1日から8月20日まで  
長崎募集案内所で臨時勤務)

## 人事

転入  
水陸機動団より転入  
総務課 総務・企画班長へ



3等陸佐 片桐 勝正

第4施設大隊より転入  
総務課 管理班長へ



准陸尉 寺井 幸夫

西部方面総監部付隊より転入  
総務課 保全係へ



1等陸曹 池田 幸夫

与那国沿岸監視隊より転入  
諫早地域事務所所長へ



2等陸尉 我謝 良彦

竹松駐屯地業務隊より転入  
大村援護センター 援護係へ



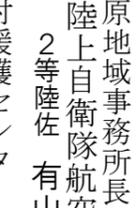
陸曹長 香田 勝弘

第5航空団より転入  
長崎募集案内所へ



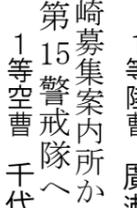
3等空曹 浦 健剛

転出  
島原地域事務所所長から転出  
陸上自衛隊航空学校へ



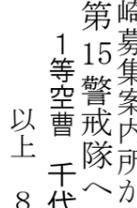
2等陸佐 有山 泰斗

大村援護センターから転出  
竹松駐屯地業務隊へ



1等陸曹 廣瀬 忠男

長崎募集案内所から転出  
第15警戒隊へ



1等空曹 千代田 貞治